

N. d'Amosshafen

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしよう。」)

発行 有限会社ナップ
編集責任 池田誠

発行日 平成二八年十一月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

綾・照葉樹林マラソン快走記

ちょっくら走って

きました 綾マラソン

前々回の新聞に書きましたように、いよいよ、とうとう、その日がきてしまいました。綾マラソンハーフを走る日。朝からどんよりとしていて、小雨もパラパラ。道が混むというので朝6時に綾町に向かいました。ハーフは10時スタート予定でしたが、天候不順のため30分遅らせるとのこと。ながーい待ち時間。この間に、ナップのランナー達それぞれの葛藤がありました。

始めから雨が激しくなるのを祈る人。服を脱いで走るようなぞぶりをみせる人。落ち着かないでうろちょろしている人。結局、スタートに立つことなくリタイア組が4名。10キロエントリー3名は、ちゃんとスタートをきりました。ハーフは私ただ1人。スタート位置に集合がかかっていてみるとすごい人・人・人。

坂。これが膝にきます。10キロまではどうにかこうにか、まわりには人がいる中を走っていたのですが、途中から雨と風が強くなってきました。寒い。まわりからどんどん抜かれていきます。ペースが一気に落ちていきました。もうね、ここまで頑張ったんやから、もういいかなどリタイアがよぎったその時、給水所で、年輩のお姉さまが「これどうぞー」と、な、なんとオレンジの札をくれました。地元の人にくれる札で、ゴールしたら綾の農産物がもらえるんです。これもらって、リタイヤしたら、札をくれた女神に申し訳ない。ここで、精神的に遅くてもなんでもいいからとにかくゴールすると決めましたね。でも、人間の体とこの精神だけではどうにもなりません。17キロすぎたところで手足がしびれだしました。みるみる寒くなって、血色が悪くなっていきます。あの、オリンピックでふらふ

ランチ野郎 見参!

「小鉢にちょびちょびヘルシーランチ きよそばの巻」

最近の異常気象で、野菜が高騰している話を耳にします。が、今回は10月22日(土)の降りしきる雨の中、川南町にある野菜中心の料理が楽しめる「きよそば」さんに行ってみました。場所はあじ豚で有名な『ゲニユマック』のすぐ近くにありま。児玉郁雄建

らしながらゴールしたアンデルセン選手(古っ)の映像が頭によぎります。給水所にとにかくたどり着いた時、塩分のタブレットがおいてありました。これを食べたならあら不思議、しびれが消えていきます。汗かいて、塩分が抜けきった状態に陥ったみたいですが。まじ死ぬんじゃないかと思いました。そんなこんなでいろいろなことがありながら、雨の中、歩いたり、少し走ったりしてどうにか20キロの看板がみえてきました。残り1キロは皆さんの声援が後押ししてくれて、会社の人々も私にぎゅいってかけよって並走してくれたり、温かく出迎えてくれて無事にゴールすることが出来ました。



挑戦なくして、成長なし (光)

がとてもマッチしていて落ち着いた雰囲気味わえます。要予約のランチは1200円(税別)ですが、器使いと品数の豊富さと美しさにビックリすると思います。



一皿一皿何が入っているのか確かめつつ食べていると、店名にもなっているお母様の清子さんが手打ちをしている十割そばが出てきました。その後、炊き込みご飯が出てきて「炊き込みご飯はおかわりが出来ますのでおっしゃって下さい。」とのこと。炊き込みご飯を食べっていると、熱々のチーズが乗ったポチャグフタンが出てきたので、その時に炊き込みご飯を

おわかりしました。
これで16品目を食べたこと
になります。



そして、最後にデザートと
コーヒーが付いてきます。



建物から見える景色を楽し
みながらゆっくりとした時間
を過ごしました。

大変満足して帰ろうと思
いましたが、やっぱり締め
に肉が食べたあーいー!!
という事になり、お隣の
ケンシユマツクでと
っても旨い肉厚なメン
チカツを買って食べなが
ら家に帰りました。

ヘルシーならずー!!(ガッ
クリ……)

(大)

九広連 宮崎大会

9月30日(金)、九広連(九
州広告美術業組合連合会)の
60周年大会が宮崎市内にて行
われました。九州各県から
屋外広告に携わる組合員が
130名近く参加して、60周
年にふさわしい大会となりま
した。公園の広場にて屋外広
告作品展が行われ、160点
近い作品が出品されました。

弊社も地元開催だけに、県
外の組合員に負けない作品を
製作しようと4点出品し、そ
の中の2点で綾町長賞と宮崎
県広告美術協同組合理事長賞
を頂く事が出来ました。しか
し、さすがに九州各県の広告
のプロが出品しているだけ
あって、どれも力作ばかりで、
弊社としても勉強になる作品
が数多くありました。

大会では作品展の表彰の他
に、永年勤続の表彰や、優良
社員の表彰などがあり、優良
社員に弊社の池田誠部長も選
出されました。

宮崎の組合員として準備が
とても大変でしたが、日頃交
流することの少ない地元の組
合員とも話す機会が持てるこ
とが出来た事もとても良かつ
たと思いました。

(大)

いんちきクワイマーが行く! 「梅雨空を背負って 双石山②」編

すれ違う紳士が、少し眉を
寄せて話かけてきた。
「この先を若い女性達が歩い
ている……。」

私が「ああ、知っていますよ。」や
まがある』ですよ」と答え
ると、
「どうやら彼女達は、双石山
は初めてのようだ。」

「…ああ、そうなんですか?」
と私。
「ちょっと気を付けておいて
もらいたい(キリッ!)」と
紳士。「はい。わかりました!」
と私(心で小さく敬礼)。

どうやら、この登山者の紳
士が見た時に、かなり疲労し
て見えていたので、気になっ
て声をかけたとの事です。
たしかに第二展望所では、
少しバテ気味に見えてました。



どのコースから下るか迷って
いる様子。
登ってきたコースをピスト
ンで戻るには、急峻な箇所も
多く、ちょっと無理そうに見
えるので、オーソドックスに
…いえけして不純な気持ちで
はなく…。あくまで年長者の
務めです!

少し早足で山頂に向かうと、
面白い笑い声が聞こえてきた。
少しそうに頂上でご飯を食べ
ている二人に遭遇。
(よしよし。よかった。)

何とはなしに、会話をして
みると、やはりまたビギナー
との事。でも、双石山は楽し
いと。…かなりキツかった…
とも。これまで韓国岳と高千
穂峰を登ってきたけれど、よ
く耳にした有名な山なので、
やっと今回チャレンジしまし
たとの事。いいね。いいね。
下りのコースを訪ねると、
双石山、今日も遊んでくれ
てありがとう。

そして私は、さっき登りそ
こねた大岩展望へと引き換え
し、高みから梅雨空の下に広
がる街を見下ろして、一服。
下りでちょっとだけツリそ
うになった太ももをかばいつ
つ、ゆっくりと登山口へと降
りていきました。



(賢)

編集後記

日増しに秋の深まり
を感じる季節になりま
した。

秋といえばスポーツ
ですね。スポーツの秋
ということで、私も先
月の23日は綾・照葉樹
林マラソン5キロの部
にエントリーしていた
のですが、当日は朝か
ら雨が降っていて気温
も低かったので、体調
を崩さないように涙を
のんでキャンセルし、
応援団にまわりました。
雨が降っているのに、
参加人数の多さには驚
かされましたが、ナッ
プから参加した4人も
全員完走し、雨の中ゴー
ルする姿には感動しま
した。今度また走る機
会があれば、私も完走
したいですね。(誠)



(誠)